

2012.11.16

NPO法人東京高次脳機能障害協議会 — <http://www.brain-tkk.com/>

T | K | K | メ | ル | マ | ガ | vol.23

.....

～ 目次 ～

- 【1】 特集：TKK設立10周年記念講演会・シンポジウム
- 【2】 TKK活動
- 【3】 関連団体の活動
- 【4】 行政等の活動
- 【5】 TKK10周年に寄せて - 日本脳外傷友の会 理事長 東川悦子氏

.....

【1】 特集TKK設立10周年記念講演会・シンポジウム \*\*

●東京高次脳機能障害協議会（TKK）発足10周年・NPO法人設立5周年記念事業  
講演会およびシンポジウム — 高次脳機能障害者のための自立と安心をめざしてin東京

10月20日（土）午後、戸山サンライズ2階大研修室

プログラム等開催の概要は：

[http://www.brain-tkk.com/index/show\\_information.php?boardAct=view&readNum=85](http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=85)

当日は来賓を含め200名以上の方々にご参加頂きました。TKK加盟団体の会員に加えて、医療関係者、行政・福祉関係者、福祉事業所、支援者、家族会、学生他、様々な立場の方、そして首都圏はもとより地方からも多数ご参加頂きました。

\*\*\* 【10周年記念事業】に参加して・・・寄稿集\*\*\*

\* 渡邊修（東京慈恵会医科大学付属第三病院リハビリテーション科診療部長/TKK顧問

TKKの皆さま、TKK発足10周年およびNPO法人設立5周年の会、お疲れ様でした。高次脳機能障害者支援のために立ち上がること、10年が経過した皆さまの思いは、ひとしおだと思えます。もともとは、ご家族に高次脳機能障害者がおられ、始められたTKKの活動ですが、それが行政の背中を押し、確実に高次脳機能障害に対する認識を広め、社会を育ててこられたと思えます。

私はこのたびのこの会で、「高次脳機能障害 急性期から回復期への支援のありかた」と題し、特に急性期から回復期に至る時期の高次脳機能障害者への支援について所感を述べさせていただきました。この時期は、ご本人もご家族も、突然の発症に動揺し、思いもよらぬ障害に直面し、不安、パニックの中におられます。医療者は、治

療とともにその心理状態を十分に汲み、ご家族に、どんな障害があるのか？ 今後、どのように改善していくのか？ どのようなリハビリテーションがよいのか？ どこでリハビリテーションができるのか？ 10年後のプランは？ といった点を説明していく必要があります。急性期から回復期、そして社会適応期へのスムーズな連携体制が求められます。

私が勤務する東京慈恵会医科大学附属第三病院は、平成24年より北多摩南部医療圏での高次脳機能障害者支援のための中核病院としての役割を担わせていただくことになりました。アドバイザー設置、症例検討会、区域連絡会、研修等を計画しているところです。TKKにもご協力をいただいております。10年を節目に、さらに東京都での高次脳機能障害者支援が発展するよう、みなさまとともに活動を進めていきたいと思っております。

## \*TKK理事長 細見みゑ

10月20日(土)の記念事業が大盛会にて催行できましたことは、スタッフならびに加盟団体の皆様、多くの関係者の方々のご協力によるものと、心より感謝申し上げます。

前半の、当事者になってしまった高次脳機能障害専門家：関啓子先生のご講演、小俣由佳さん演奏のヴィオラの美しい音色、小宮紀子さんとリハビリ支援のSTの西脇恵子先生とのさわやかな対談、どれも生きていることの素晴らしさと感動、希望を与えてくださいました。有り難うございました。また、加盟団体皆様と担当の方々の努力の賜物：23団体紹介(パワーポイント)は、休憩時の上映ではもったいないとの感想しきりでございました。後半の、高次脳機能障害に精通した渡邊修先生、長谷川幹先生、都心障の安藤純子課長のプレゼンはさすがでした。西脇恵子先生の巧みなコーディネートと会場からの質疑応答等々により、シンポジウムは核心を突き、おおいに盛り上がり、記念事業の目的が果たせました。有り難うございました。

さて、大きな人口を抱える東京都において、区市町村の相談支援体制と地域医療と福祉とのネットワーク構築は、大変な作業です。毎年、TKKは要望書を提出し、支援の充実を訴えてまいりました。しかし、10年前に比べれば隔世の感があります。まだまだ不十分なところはありますが、区市町村促進事業は現在27自治体まで広がり、中核病院を取り込むネットワークにより、各医療機関が診断やリハに理解をもって地域と連携してくれるようになりました。各地域の家族会活動も41団体になり大きく広がりを見せています。これほど東京各地域の家族会活動が公的な支援と相互に補完し合い、地域支援の充実に必要な役割を果たし、機能的なネットワークができていることを考えれば、東京は結構頑張っている、と思っております。

この記念事業での家族会皆様との結束を糧として、TKKは今後も、地域資源の開発や支援の拡充に貢献していきたいと思っております。皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## \*参加者の感想

==== 関啓子先生、小宮紀子さん、小俣由香さんの3人の脳損傷経験者がそれぞれの分野で見せてくださった受傷後の実りは、会場の共感と感動をよびました。西脇恵子先生、渡邊修先生、長谷川幹先生、安藤淳子先生には、医療/福祉ご専門の立場から具体的な解説とこれからの支援について語っていただきました。ご講演を聞きながら、TKKの10年はこれらの方々との協働の歴史でもあったこと、それをこのような場できちんと伝えていくこと、記録として残していくことこのTKKの役割や使命についても考えていました。

当協議会の活動、当事者の生の声、高次脳機能障害支援の実情をできるだけ多く伝えたいということで、盛り沢山のプログラムとなり、聞く方もかなりの集中力が必要ではなかったかと司会者として気になりましたが、充実した内容を評価するというアンケート結果にほっといたしました。==== 田辺

==== 「もう10年経ったのか・・・」最初に思った事がこの言葉です。

私は交通事故で高次脳機能障害になってしまったのが15年前です、その当時は高次脳機能障害ということが理解されていませんでした。この10年の間に講演会や研修会が増え高次脳機能障害という言葉が少しはわかっ  
てもらえていると思っています。講演会はたくさんの方が参加されていて、そして皆さんが真剣に話を聞いていたのが印象に残っています。ヴィオラの演奏も初めて生で聞きました、良かったです。私は当日、TKKのスタッフとしてお手伝いをしていて各団体の関係者の方々が動き回って準備をしている姿がすごいと感じ、うれしいなども思いました。黙っていたら誰にもわかってもらえない障害を支援してくれる人がいることも心強いです。これからもお願い致します。  
===== 小澤希予志(当事者)

===== 準備段階で「会の紹介ポスターが展示ブースにどれ位集まるだろうか？」との私の不安は一気に吹き飛びました。開場直前には、設置パネルに、加盟団体それぞれの特色を出したポスターが所せましとばかりに並びました。ポスターには独自の工夫が凝らされていて、それぞれの会の活動をアピールしようとの意気込みを感じました。折角ですもの、会のブース担当者の生の声をじっくり聞きたかった方もいらしたのでは？何かの折に、そういう交流を設けていいかも。  
===== 伊地山

===== 加盟の各会の皆様に提供して頂いた資料はいずれも素敵な画面で、会の長所が紹介されていました。私は原稿を読みながら大きなスクリーンを見ることができず少々残念でした。皆様の中にも、もう一度ご覧になりたい方がいらっしゃるのではないのでしょうか？ 今後インターネットで公開すれば、お互いに会の様子を伺え、家族会を探していらっしゃる方にも参考にして頂けると思います。資料提供にご協力頂きありがとうございました。  
===== 蔵方

---

## 【2】TKK活動

---

\*\*\*

### ●平成25年度への予算要望書を東京都へ提出

10月10日(水)午前、第一本庁舎会議室  
東京都出席者:福祉保健局 障害者施策推進部 精神保健・医療課課長 および  
居住支援課、計画課、教育庁教育情報課、就業推進課の関係係長  
予算要望書:[http://www.brain-tkk.com/index/show\\_information.php?boardAct=view&readNum=87](http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=87)

### ●理事会

11月11日(日)夜、TKP渋谷カンファレンスセンター会議室  
今年度新規事業(高次脳機能障害相談支援室)、来年度事業について他

### <24年度度「医療及び家族相談交流会」>

- |      |            |             |                       |
|------|------------|-------------|-----------------------|
| ●第5回 | 11月4日(月・祝) | 13:00~16:30 | 東京慈恵会医科大学付属第3病院       |
| ○第6回 | 12月9日(日)   | 13:30~16:30 | 東京都心身障害者福祉センター        |
| ○第7回 | 1月20日(日)   | 13:30~16:30 | 東京慈恵会医科大学付属第3病院       |
| ○第8回 | 2月10日(日)   | 13:30~16:30 | 千住ミルディス1番館10階 1010講義室 |
| ○第9回 | 3月20日(日)   | 13:30~16:30 | 東京慈恵会医科大学付属第3病院       |

ご案内および申込み

[http://www.brain-tkk.com/index/show\\_information.php?boardAct=view&readNum=79](http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=79)

今年度から相談員に医師を交え「医療及び家族相談交流会」として開催しています。  
6月から11月まで、毎月実施した5回の相談会には30組の方に参加いただきました。  
参加者からいただいたアンケートの回答では、大多数の方から「アドバイスは今後を生かせる」「ご自身以外の相談者のお話も参考になった」との評価をいただきました。

---

### 【3】関連団体の活動

---

\*\*\*

#### ●杜のハーモニー♪ 家族相談会

10月28日(日) 13:30～17:00 調布市総合福祉センター4階  
金子真人氏 (帝京平成大学言語聴覚学科准教授)  
香月静氏 (足立区障がい福祉センターあしすと)  
本田裕人氏 (調布市社協高次脳機能障害担当)

==== 金子氏、香月氏、本田氏に相談に乗っていただきました。家族はそれぞれの体験を話すことで、専門家の視点からのアドバイスを頂き、当事者と家族の現在の苦しい状況をどうやって抜け出したら良いか、ヒントや糸口につながられたように思います。また当日は帝京平成大学の学生さん数名がボランティアで参加されました。当事者は若者同士の気安さも手伝い、ゲームと一緒に楽しむことができました。ゲームが終わって家族と合流した時には、最初にお会いした時とうって変わり、当事者達の満面の笑みが親たちを明るくしてくれた一日となりました。==== 伊地山

#### ○NPO法人高次脳機能障がい者活動センター 調布ドリーム

##### 第18回ドリームサロン ～高次脳機能障害を、知ろう、語ろう、もっと身近に～

11月17日(土) 13:00～15:00、無料  
高次脳機能障がい者活動センター調布ドリーム(京王線飛田給駅南口徒歩1分)  
1部 心の唄・コンサート 木谷正道氏他、2部 当事者と共に語り合う  
お申込み: TEL/FAX : 042-444-3068、Eメール: info@chofudream.com

#### ○いちごえ会第2回講演会、「高次脳機能障害 心と体のリハビリテーション」

11月18日 13:30～15:30、参加費:1000円、  
小金井市福祉会館5階(小金井市中町4-5-14 JR武蔵小金井駅北口5分)、  
講師:橋本圭司先生、申込み・お問い合わせ:TEL&FAX 042-401-0051、mail:info@ichigoe.org

#### ○世田谷高次脳機能障害連絡協議会「高次脳機能障害を理解する学習会」

世田谷区立総合福祉センター3階研修室(小田急線 梅ヶ丘駅・豪徳寺下車7分)  
参加費:各回500円(資料代)

1日目 11月16日(金) 19:00 ～ 20:30

— 失語症者の場合「仲間に囲まれ役割を持つことが回復へ」

2日目 11月22日(木) 19:00 ～ 20:30

ー 左半側空間無視者の場合「自身の戸惑い。家族の支え」

3日目 11月30日(金)19:00～20:30

ー 記憶障害者の場合「復職に向けて・・・」

申し込み・事務局:世田谷高次脳機能障害連絡協議会 tel 03-5829-8741 fax 03-5829-8743、  
詳細は:[http://www.brain-tkk.com/index/show\\_board.php?boardAct=view&readNum=140](http://www.brain-tkk.com/index/show_board.php?boardAct=view&readNum=140)

○高次脳機能障がい者の会 メビウスのWA/国分寺市共催

講演会「高次脳機能障害の理解と対応」

講師:渡邊修氏(慈恵第三病院リハビリテーション科診療部長、TKK顧問)

12月4日(火曜日) 19:00～21:00、参加費:無料(定員200名、申込み不要)

会場:国分寺Lホール(国分寺ターミナルビル8階、042-327-1139)

お問い合わせ:国分寺市(問合せ:042-325-0111)

講演会チラシ:<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~mebiusunowa/>

○世田谷高次脳機能障害連絡協議会、「脳損傷者リハビリテーション講習会」

12月16日(日) 13:00～16:00 国士舘大学世田谷キャンパス多目的ホール 定員500名、入場無料

主催:脳損傷者リハビリテーション講習会実行委員会

後援:世田谷区、社会福祉法人世田谷ボランティア協会

協力:学校法人国士舘、ケアセンターふらっと高次脳機能障害相談窓口

申し込み・事務局:世田谷高次脳機能障害連絡協議会 tel 03-5829-8741, fax 03-5829-8743、

詳細は:[http://www.brain-tkk.com/index/show\\_board.php?boardAct=view&readNum=141](http://www.brain-tkk.com/index/show_board.php?boardAct=view&readNum=141)

---

## 【4】行政等の活動

---

\*\*\*

●平成24年第2回 高次脳機能障害者相談支援研修会,主催:都心身センター

9月24日(月) 午後、東京都社会福祉保健医療研修センター講堂

講演1:「小児期発症の高次脳機能障害児・者について」

栗原まな氏(神奈川リハ小児科部長・医師)

講演2:「高次脳機能障害児・者のご家族の体験から」

ハイリハ東京およびハイリハキッズの会員より

==== この問題に長く携わってこられた経験をお持ちの栗原先生の講義は、全てのご説明が分かり易く納得性がありました。「発達障害と同じファシリティで高次脳機能障害のリハをやってほしい、リハの考え方は90%同じですから」というメッセージが早く実現してほしいと思いました。また子供の問題は大人と比べて、「社会的予後が良いわけではない、将来を見据えた介入が大切、他の子供たちが日々成長していく中で「回復+成長」を目指す困難さ、二次障害の予防が大切」、というお言葉はこの問題の本質をついていると思います。

ご家族からは、今までの困難な状況、あるいは克服しようとしているお話があり、感動を覚えました。

==== 矢野

○板橋区障がい者週間記念行事講演会 主催：板橋区,後援：TKK

『高次脳機能障害者と家族の会』の歩みと今、家族会に求められている動き』

12月3日(月) 10:00～12:00、板橋区立グリーンホール(板橋区栄町36-1)

講師:今井雅子氏(高次脳機能障害者と家族の会代表、TKK副理事長)

企画・運営:NPO法人みんなのセンターおむすび、地域活動支援センター デイサービスおむすび、

申し込み:電話 03-3579-7059

○稲城市障害者週間講演会「高次脳機能障害のある方の支援について」

12月9日(日) 14:00～15:30、稲城市地域振興プラザ4階会議室

講師:水村慎也氏(国立リハ 自立訓練部生活訓練 ソーシャルワーカー)

費用:無料

申込み:稲城市障害者総合相談センターマルシェいなぎ 042-379-9234

<町田市主催「高次脳機能障がい者支援セミナー」> TEL:042-794-0730、FAX:042-794-0772

町田市地域福祉部 障がい者福祉センター(町田市忠生3-6-2 ひかり療育園)

● 第1回:11月10日(土) 午後

「高次脳機能障がい者のリハビリ」:三沢 幸史氏(多摩丘陵病院 診療技術部長)

○ 第2回:12月8日(土) 14:00～16:00

「家族の思い」:細見 みゑ(TKK理事長)

○ 第3回:1月19日(土) 14:00～16:00

「高次脳機能障がい者と社会制度」:都心障 高次脳機能障害者支援担当職員

○柏市主催研修会「高次脳機能障害者への就労支援」

講師:田谷勝夫氏(障害者職業総合センター特別研究員)

12月1日(土) 13:30～16:30、柏市中央公民館 5階講堂(柏 5-8-12)、無料

申込み・問い合わせ:ハートフルワーク柏(柏市障害福祉就労支援センター)

04-7163-9353(FAX兼用), [info-hrtf@city.kashiwa.lg.jp](mailto:info-hrtf@city.kashiwa.lg.jp)

○荒川区主催「高次脳機能障がい講演会」

25年1月16日(水) 13:30～15:30、お問合わせ先:TEL 03-3891-6824、FAX 03-3807-8483

荒川区立心身障害者福祉センター(荒川区荒川1-53-20 荒川たんぼぼセンター)

「息子の交通事故から15年～失ったもの・得たもの～」講師:細見 みゑ(TKK理事長)

○平成24年度 第3回 港区「講演会及び医療&家族相談交流会」

25年1月26日(土) 13:30～16:30、高輪区民センター

講演1:高次脳機能障害のための地域医療

長谷川 幹氏(三軒茶屋リハビリテーションクリニック院長)

講演2:小児当事者をもつ家族(家族会:ハイリハキッズ役員)

講演会の後、引き続き講師による医療&家族相談交流会を実施します。

申込み:みなとコール 03-5472-3710

お問い合わせ:港区障害者福祉課 TEL:03-3578-2111(内線2457)

---

## 【5】TKK10周年に寄せて

---

＊ ＊

### 一 家族会活動の15年 一 NPO法人日本脳外傷友の会 理事長 東川悦子

TKKさんの発足10周年、NPO法人設立5周年、おめでとうございます。

私たちは今年でちょうど、名古屋のみずほの会、神奈川のナナの会等が設立15年を経過していますので、ちょっと先輩の会としての所感を書かせていただきます。

まさに「無から有を生む」何もないところから始めた活動でしたが、始めてみたら毎日のように皆さんの切実な声が全国から聞こえてきました。当時は仕事していましたので、帰宅すると帯のようになったFAXを読んだり、夜中までの電話に家人に怒られたり苦勞の連続でした。それだけ誰にも相談できないお困りの問題を抱えた方がおられたということです。今や我が会は全国に54団体の会の連合組織となりました。今、全国の障害者団体が勢力を結集して活動している「障害者権利条約批准」に向かう、障害者諸施策の改善をめざすフォーラムや講演会などがしばしば開催されています。時間もお金もかかる私の住所、神奈川からの参加は大変な負担ですが、全障害者にかかわる重要な問題ですからできる限り参加しています。全国に情報も伝えねばなりません。

TKKさんは、東京を代表する会として独自の連合組織を作っておられますので、敬意を持って見ております。今後より一層、高次脳機能障害支援普及のために、首都圏在住のTKKのみなさんと共に、大きく連携して活動していけたらと期待しております。

以上